

## 報告書抄録

ふりがな	ごくらくじいせき							
書名	極楽寺遺跡							
副書名	県道小荒路牧野沢線道路改築事業に伴う発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	横田洋三							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課				財団法人滋賀県文化財保護協会			
所在地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号				滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2			
発行年月日	平成19年（2007年）3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査面積 (㎡)	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
ごくらくじいせき 極楽寺遺跡	たかしまし 高島市  まきのちょう マキノ町  さわ 沢	521	55	35度 27分 35秒	136度 02分 10秒	2,645	2004	県道改築 工事
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
極楽寺遺跡	集落	古墳時代		竪穴住居		古式土師 須恵器		建替え住居
	その他	中近世		溝				丹羽長秀 の防御線
要約	<p>高島市マキノ町内で初見となる弥生時代から古墳時代にかけての集落遺跡である。竪穴住居で構成され、7棟検出した。検出した住居は古墳時代後期に属するものにおいても設備にカマドを持っておらず、近隣の薬師堂遺跡で検出されている掘立柱建物のみで構成される古墳時代後期の集落との違いが際立っている。周辺では鉄生産を中心として活動する集団が以後活発な動きを見せるが、極楽寺遺跡はこれに先行する営農を基盤とした集団の集落と考えられる。竪穴住居の中には大型の建物もあり、集会場的な施設であったと想定できる。</p> <p>中世では比較的大型の溝が検出され、伝承に残る丹羽長秀の構築した湖西の防御ラインとの関係が興味深いところである。</p>							